

序

近畿大学原子炉は、新規制基準に適合するため準備を進めて参りましたが、平成 29 年 3 月 17 日に原子力規制委員会から合格証が交付され、同年 4 月、共同研究の実施が可能となりました。共同研究に携わっていただいております研究者の皆様には大変お待たせを致しました。

現在、国内で利用できる研究用原子炉は、京都大学原子炉と近畿大学原子炉の 2 つのみです。しかしながら一方で、その重要性が議論されている状況でございます。改めまして近畿大学原子炉が、原子力基礎研究が行える貴重な場として重要な役割を果たしていることを再認識致しております。

このような状況の中、平成 29 年度は、物理系 10 件、化学系 2 件、生物系 4 件の合計 16 件の共同研究が実施されました。本報は、その研究経過について取りまとめたものです。詳細は本報告書をご覧くださいことといたしまして、いずれも大変興味深い原子力研究となっております。また、原子力教育にも積極的に使用されていることは特筆すべきことと思っております。

皆様方には今後もますます共同利用をご活用いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

平成 30 年 12 月

平成 29 年度近畿大学原子炉共同研究運営委員会

委員長 村田 勲